

イーレックスが24/3期業績予想を修正—直ちに格付に影響しないが、下方圧力は強まる

以下は、イーレックス株式会社（証券コード：9517）の24/3期業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 23年11月10日、当社は24/3期業績予想を修正した。親会社株主に帰属する当期純損益の予想値を従来の44億円の黒字から、220億円の赤字へ変更した。ここ数年は、卸電力市場価格の上昇リスクに備えた事業運営を行い、好業績を収めてきた。しかし、23/3期第4四半期以降、エネルギー市況は急速に下落。足元でも卸電力市場価格は当社想定を下回って推移している。24/3期については当社販売量を上回る調達余剰分の逆ザヤの解消が困難となり、大幅な損失計上を余儀なくされている。
- (2) 格付に直ちに影響させない理由は、業績悪化が一過性にとどまる公算が相応にあるためである。当社では25/3期の業績回復に向けた施策に着手している。電力の調達・販売量のリバランスに取り組んでいる上、市場連動型の料金メニューのウェートを高めており、卸電力市場価格の上下動に対して中立的な事業運営に舵を切っている。
- (3) しかし、24/3期末は自己資本が毀損し、財務体力が低下するとみられる中で、投資拡大方針を継続するようであれば、格付への下方圧力は増すことになる。25/3期以降の利益回復のスピードと財務改善に対する経営のコミットメントの強弱等を確認し、適宜格付に反映させていく。

(担当) 殿村 成信・小野 正志

【参考】

発行体：イーレックス株式会社

長期発行体格付：A-

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル